

高気圧酸素治療のご案内

牧田総合病院蒲田分院に高気圧酸素治療装置導入

大森本院では2000年に高気圧酸素治療を導入し、今までに15000件以上の治療を行っています。この度、牧田総合病院蒲田分院にも高気圧酸素治療装置（米国セクリスト社製の最新モデル「Model 3300HJ」）を新規導入し、大森と蒲田の2台体制で高気圧酸素治療を開始いたしました。

高気圧酸素治療とは？

空気呼吸時、肺胞に入った空気中の酸素は赤血球のヘモグロビンに結合し（**結合型酸素**）、一部は血漿中に溶解します（**溶解型酸素**）。そして、この2つの型の酸素が血流によって、体内の各組織に送られます。しかし、**結合型酸素**は赤血球中のヘモグロビンに酸素が100%入ってしまうと、それ以上は増量しません（大気圧下、空気呼吸時の動脈血の酸素飽和度は97~98%です）。これに対し、**溶解型酸素**は気圧が上昇するにつれて、一定の法則に従って少しずつ増量してゆきます。大気圧下、空気呼吸時の動脈血酸素分圧が100mmHgであるのに対して、2気圧下、純酸素吸入時では1000mmHg以上へと大きく増やすことができます。この増量させた**溶解型酸素**によって、体内の低酸素症を改善しようとするのが高気圧酸素治療です。

保険診療の適応疾患

(1) 減圧症又は空気塞栓に対して、発症後1か月以内に行う場合に、一連につき7回を限度に施行。

(2) 次の疾患に対して行う場合に、一連につき10回を限度に施行。

ア 急性一酸化炭素中毒その他のガス中毒（間歇型を含む。）

イ 重症軟部組織感染症（ガス壊疽、壊死性筋膜炎）又は頭蓋内膿瘍

ウ 急性末梢血管障害

（イ）重症の熱傷又は凍傷

（ロ）広汎挫傷又は中等度以上の血管断裂を伴う末梢血管障害

（ハ）コンパートメント症候群又は圧挫症候群

工 脳梗塞

オ 重症頭部外傷後若しくは開頭術後の意識障害又は脳浮腫

カ 重症の低酸素脳症

キ 腸閉塞

(3) 次の疾患に対して行う場合に、一連につき30回を限度に施行。

ア 網膜動脈閉塞症

イ 突発性難聴

ウ 放射線又は抗癌剤治療と併用される悪性腫瘍

エ 難治性潰瘍を伴う末梢循環障害

オ 皮膚移植

カ 脊髄神経疾患

キ 骨髄炎又は放射線障害



当院での高気圧酸素治療

- 蒲田分院では外来通院のみの治療を行います。入院が必要な患者様は大森本院での治療となります。
- 治療前に高気圧酸素治療専門医による診察を行います。
- 患者様の状態によっては治療ができない場合があります。
- 保険適応疾患に関しては3割負担の方で1回の治療に付き、約12000円ほどの自己負担額となります。

蒲田分院での高気圧酸素治療の依頼先

お問い合わせ先：牧田総合病院 蒲田分院

電話番号：03-5748-5020（代表）（平日9:00~17:00 土曜日9:00~12:00）

- ご予約に関しては、貴医療機関様から直接ご連絡下さい。
- 大森本院での治療を御希望される場合は牧田総合病院医療介護連携室にご連絡をお願い申し上げます。

（牧田総合病院本院 医療介護連携室 電話:03-3762-3174）